

今年の天候は…？

2月11日、氷川神社(下老袋)で県指定無形民俗文化財「老袋の弓取式」が行われました。弓取式とは、的の白い部分を晴れ、黒い部分を雨として矢を放ち、刺さった矢の多さでその年の天候を占うもの。今年は、黒と白が半分ずつ。晴れと雨、両方の恩恵を受けられるようです。しんと冷えた空気の中で行われた式の後、参加者は温かい甘酒と豆腐田楽が振る舞われ、ほっとひと息。関根利子さん(下老袋)は「50年以上この行事に参加してます。的のとおり天候に恵まれた、良い年になればいいですね」と笑顔。



雪が残る境内で、多くの人が見守る中行われました

再利用で素敵に変身

使わなくなった布をショルダーバッグとして生まれ変わらせて再利用する「ショルダーバッグづくり講座」が2月18日、つばさ館で行われました。講師を務めた「アトリエれな」の代表・浦野弘子さん(今福)は「不用な布が素敵に変身する楽しさを、皆さんにも伝えたい」と講座への思いを話します。参加者は「孫にあげたい」、「自分で作ったものなので、長く大切に使いたい」などそれぞれの思いを胸に、ひと針ひと針に心を込めて、自分だけのオリジナルバッグを作りました。



針仕事も仲間がいるとより楽しいものに



見事に完成!



ふおとニュース



プロの技を伝授



プロの技に「なるほど！」

魚のさばき方から料理のコツまでプロから学べるイベントが、2月20日に埼玉川越総合地方卸売市場(大袋)で行われました。題して「冬が美味 魚料理を楽しもう」。さばいたのは、仕入れたばかりの新鮮なアジ・サバ・ヤリイカ。手の置き方や包丁の入れ方に至るまで、丁寧に教えてくれます。料理では、サバのムニエルをふっくら焼くコツなどを目の前で実演。参加者の金子京子さん(南台3丁目)は「普段はここまで勉強する機会がないので、とても楽しかったです」と顔をほころばせていました。



市場内の食育ショップで料理実演

体を動かすっていいな

近隣大学の陸上部の学生を小学校に招き、走ることを通して体を動かす楽しさを知ってもらうトップアスリートふれあい事業。1～2月は、箱根駅伝を制した東洋大学陸上競技部の選手が来校しました。2月19日に行われた新宿小学校の授業では、子どもたちが直接コーチや選手から準備体操の仕方や走り方を教えてもらい、体育館は熱気でいっぱい。小学2年生の金子慎悟くんは、「走るのがさらに好きになりました。もっと早く走れるようになりたい」と話してくれました。



「子どもたちにたくさん元気もらいました」と今年の箱根駅伝の復路8区で、見事区間賞に輝いた高久龍選手